

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 5

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	03	01
	細事業名	小学校施設改修事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 施設の老朽化が著しい学校が多く、地域住民からの施設の安全性に対する関心が高まっているため、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校再配置の方向性を見定めつつ、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各小学校を対象に、施設の危険及び破損箇所等の改修工事を行った。(神野小学校外壁補修工事、長岡小学校給水ポンプ装置取替工事、危険遊具撤去工事等)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の改善や児童の安全性確保

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	13	1,879	国庫支出金		
	15	11,127	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		13,006
事業費合計		13,006	合計		13,006

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION						
改善	事業内容の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
	A 現状維持	理由			施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。	
	B 内容の見直し					
	C 統廃合・休止・終了					
	事業規模の方向性					
<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。	B 現状維持	C 事業縮小	
A 事業拡大	理由			施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。		
B 現状維持						
C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 6

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	03	02
細事業名	小学校施設耐震診断事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 旧耐震基準で設計・建築された小学校施設について、耐震二次診断を実施し、建物強度の把握と補強計画の検討を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全ての小学校施設において、耐震二次診断を完了させる。(平成22年度完了予定)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 下記の施設において、耐震二次診断を実施した。 ・京丹後市立吉原小学校 4棟 ・京丹後市立間人小学校 1棟 ・京丹後市立鳥取小学校 6棟
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 耐震二次診断を実施した建物11棟のうち、耐震性がある建物は4棟、耐震性がない建物は7棟(うち大規模地震の際倒壊の危険性が特に高いもの1棟)と判定された。なお、耐震性がない建物については耐震補強工事の基本設計を行った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	13	12,612	国庫支出金	建築物耐震改修等事	4,894
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		7,718
事業費合計		12,612	合計		12,612

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	平成21年度においては、耐震二次診断を国の臨時交付金事業と併せて実施したこともあり、市内大部分の小学校で耐震二次診断を完了させることができた。(未診断校:大宮第三・黒部小学校)
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	専門的な知識と技能を要する業務委託内容であり、コスト削減の余地がなかった。	
○ 削減の余地がなかった			
▲ 少し削減の余地があった			
× 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	学校の耐震性への関心は社会的に高まっており、安全・安心な学校施設の確保に向けた耐震二次診断の実施が必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	市内学校施設における耐震二次診断については、平成22年度中で全てが完了となる。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 12

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	06	01
	細事業名	小学校施設管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各小学校を対象に、施設修繕、各種設備の保守管理業務及び事務機器リース等を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の維持管理によって、円滑な学習環境が確保された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	18,519	国庫支出金		
	12	2,294	府支出金		
	13	23,471	起債		
	14	4,429	分担金・負担金		
	16	625	その他		
			一般財源		49,338
事業費合計		49,338	合計		49,338

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
▲	進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。	A	B 内容の見直し	A
A	A 現状維持	理由	施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。					
A	B 内容の見直し							
A	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。	A	B 現状維持	A
A	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。					
A	B 現状維持							
A	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 13

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	03	01
	細事業名	中学校施設改修事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 施設の老朽化が著しい学校が多く、地域住民からの施設の安全性に対する関心が高まっているため、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校再配置の方向性を見定めつつ、安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各中学校を対象に、施設の危険及び破損箇所等の改修工事を行った。(網野中学校教室棟三階部避難器具取替工事、峰山中学校給食調理室横通路アスファルト舗装工事、危険遊具撤去工事等)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の改善や生徒の安全性確保

●平成21年度決算					
歳出		歳入			
予算科目	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	13	169	国庫支出金		
	15	2,305	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,474
事業費合計		2,474	合計		2,474

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)	
	○ 進捗している(できている)	理由			施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言えない。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)							
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった		
○ 削減の余地がなかった	理由			施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。			
▲ 少し削減の余地があった							
× 削減の余地があった							

●平成22年度予算					
総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
歳出		歳入			
予算科目	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了	
	A 現状維持	理由			施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な学校施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。		
	B 内容の見直し						
C 統廃合・休止・終了							
事業規模の方向性							
<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。	B 現状維持	C 事業縮小		
A 事業拡大	理由			施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な学校施設を確保するために事業拡大が必要である。			
B 現状維持							
C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号  
教総 14

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	03	03
	細事業名	中学校施設耐震化事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN		
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市
	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実
	施策方針	2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 旧耐震基準で設計・建築された中学校施設について、大規模地震発生時に生徒の安全を確保するとともに、地域住民の避難場所としても活用できるように耐震化工事を施す。	平成26年度 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
		市内全ての旧耐震基準建物について、耐震化工事を完了させる。

DO	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 峰山中学校体育館の耐震補強工事を実施した。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 中学校施設の耐震化率向上 平成21年4月1日時点 81.6% → 平成22年4月1日時点 84.2%

●平成21年度決算					
歳出		歳入			
予算科目	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	12	80	国庫支出金	安全・安心な学校づく	31,009
	13	1,764	府支出金		
	15	40,225	起債		
			分担金・負担金		
事業費合計		42,069	合計		42,069

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 大規模地震発生時に倒壊の危険性が高いとされるIs値0.3未満建物について、耐震補強工事を実施した。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 専門的な知識と技能を要する工事内容であり、コスト削減の余地はなかった。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算					
総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度 事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度 事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
歳出		歳入			
予算科目	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 学校の耐震性への関心は社会的に高まっており、安全・安心な学校施設の確保に向け、計画的な耐震化工事の実施が必要である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 耐震二次診断により耐震性が劣ると判定された学校施設については、一刻も早い耐震性の確保が求められていることから、継続的に事業実施する必要がある。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 15

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	06	01
	細事業名	中学校施設管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各中学校を対象に、施設修繕、各種設備の保守管理業務及び事務機器リース等を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校施設の維持管理によって、円滑な学習環境が確保された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	8,487	財源内訳	国庫支出金	
	12	964		府支出金	
	13	8,247		起債	
	14	3,015		分担金・負担金	
	16	222		その他	
				一般財源	
事業費合計		20,935	合計		20,935

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
歳出		歳入			
予算科目	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
予算科目			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
				合計	
事業費合計			合計		

ACTION						
改善	事業内容の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
	A 現状維持	理由			施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。	
	B 内容の見直し					
	C 統廃合・休止・終了					
	事業規模の方向性					
<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。	B 現状維持	C 事業縮小	
A 事業拡大	理由			施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。		
B 現状維持						
C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 16

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	03	01
	細事業名	幼稚園施設改修事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 施設の老朽化が著しく、地域住民からの施設の安全性に対する関心が高まっているため、安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた計画的な施設整備を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 安全・安心な学校施設の確保に向けた計画的な施設整備に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各幼稚園を対象に、施設危険箇所の改修工事を行った。(危険遊具撤去工事)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 幼稚園施設の改善や園児の安全性確保

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	15	93	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		93
事業費合計		93	合計		93

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言いがたい。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言いがたい。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)	
	○ 進捗している(できている)	理由			施設全体の老朽化が著しく、十分な整備ができたとは言いがたい。しかし、緊急性を要する改修については一定の効果があったと言える。		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)							
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった		
○ 削減の余地がなかった	理由			施設の老朽化による改修必要箇所が多く、コスト削減の余地がなかった。			
▲ 少し削減の余地があった							
× 削減の余地があった							

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
歳出		歳入			
予算科目	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了	
	A 現状維持	理由			施設全体の老朽化が著しいため、今後も安全・安心な幼稚園施設の確保に向けた施設整備を継続する必要がある。		
	B 内容の見直し						
C 統廃合・休止・終了							
事業規模の方向性							
<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な幼稚園施設を確保するために事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な幼稚園施設を確保するために事業拡大が必要である。	B 現状維持	C 事業縮小		
A 事業拡大	理由			施設の老朽化が進行している反面、施設の安全性に対する関心は高まっており、早期に安全・安心な幼稚園施設を確保するために事業拡大が必要である。			
B 現状維持							
C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 17

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	06	01
	細事業名	幼稚園施設管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 幼稚園施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 幼稚園施設の維持管理を行い、円滑な学習環境を確保する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の各幼稚園を対象に、施設修繕、各種設備の保守管理業務及び事務機器リース等を実施した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 幼稚園施設の維持管理によって、円滑な学習環境が確保された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	323	国庫支出金		
	12	75	府支出金		
	13	736	起債		
	14	231	分担金・負担金		
	16	20	その他		
			一般財源		1,385
事業費合計		1,385	合計		1,385

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設全体の老朽化が著しく、十分な施設管理ができたとは言えない。しかし、限られた事業費の中でも円滑な学習環境の確保ができたと言える。	
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。</td> </tr> </table>	理由
理由	円滑な学習環境の確保に向けて必要不可欠な経費であり、コスト削減の余地がなかった。	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針	2 学校教育施設の整備・充実				
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設・設備の老朽化が著しいため、円滑な学習環境の確保に向け、施設整備事業と関連付けた計画的な維持管理が必要である。	
改善	事業規模の方向性	
	<table border="1"> <tr> <td>理由</td> <td>施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。</td> </tr> </table>	理由
理由	施設の老朽化が進行している中でも、常に円滑な学習環境の確保が求められているため、施設整備事業と関連付けた事業拡大が必要である。	

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 6

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	10	01
	細事業名	学校情報化推進事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) ICTを活用した魅力ある授業・わかりやすい授業を展開し、児童生徒の学力の向上を目指す。ICTを活用した校務の効率化を図るとともに、教職員のICT活用能力の向上を目指す。また、ホームページ等情報発信による開かれた学校運営を目指す。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) より良い情報化の推進による児童・生徒の学力の向上。教職員のICT活用能力を高めることによる校務の効率化。積極的な情報公開による開かれた学校。
	3 学力の向上と心身の育成 6 地域に開かれた学校づくり

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 小学校31校の児童・中学校9校の生徒・教職員を対象に、教育用ICT環境の維持管理、校務用ICT環境の維持管理、情報発信用ICT環境の維持管理、学校ネットワークセキュリティ対策を行った。小学校11校の情報教室に学習支援統合ソフトを購入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 維持管理を適切に行なったことにより、ICT環境につきものの不具合の回避または不具合が発生したときの対応をスムーズに行うことができた。これにより、学校の教育現場や校務への影響を最小限に抑え、健全なICT環境の維持及び利活用ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	9	7	国庫支出金		
	11	2,042	府支出金		
	12	5	起債		
	13	2,383	分担金・負担金		
	14	34,366	その他		
	18	388			
			一般財源		39,191
事業費合計		39,191	合計		39,191

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">整備したICT環境の維持管理を適切に実施でき、ICT環境利活用の推進ができたため。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	整備したICT環境の維持管理を適切に実施でき、ICT環境利活用の推進ができたため。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	整備したICT環境の維持管理を適切に実施でき、ICT環境利活用の推進ができたため。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
改善	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当事業費で新規にICT機器を整備するため計上していた費用は、平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	当事業費で新規にICT機器を整備するため計上していた費用は、平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	当事業費で新規にICT機器を整備するため計上していた費用は、平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 8

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	02	01
細事業名	小学校管理運営事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内30校の小学校の児童と教職員に学校の管理運営に係る必要経費を支出し、よりよい教育環境を提供する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の小学校31校の管理運営に要する経常経費の支出を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 安心して学べる学習環境を整えることができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	730	国庫支出金		
	7	5,729	府支出金		
	11	125,237	起債		
	12	6,902	分担金・負担金		
	13	31,507	その他		
	14	491			
	18	6,269			
	19	981	一般財源		177,846
事業費合計		177,846	合計		177,846

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 安心して学べる環境をつくり、学校運営を円滑に維持している。また、限られた予算を有効活用している。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
改善	○ 削減の余地がなかった	理由 学校を運営していくための必要最小限な経費であり、削減の余地は無い。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	
	○	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 14

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	02	01
	細事業名	中学校管理運営事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内9校の中学校の生徒と教職員に学校の管理運営に係る必要経費を支出し、よりよい教育環境を提供する。 市内9校の中学校の生徒と教職員に学校の管理運営に係る必要経費を支出し、よりよい教育環境を提供する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の小学校9校の管理運営に要する経常経費の支出を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 安心して学べる学習環境を整えることができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	314	国庫支出金		
	7	2,459	府支出金		
	11	50,611	起債		
	12	3,345	分担金・負担金		
	13	6,179	その他		
	14	156			
	18	2,470			
	19	1,646	一般財源		67,180
事業費合計		67,180	合計		67,180

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 安心して学べる環境をつくり、学校運営を円滑に維持している。また、限られた予算を有効活用している。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○ 削減の余地がなかった	理由 学校を運営していくための必要最小限な経費であり、削減の余地はない。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 学校を運営していくために必要な経費であり、今後も学習環境を整えるため不可欠である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 今後も学習環境を整えるため、物価を考慮した予算配当が必要である。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 4

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	04	01	
	細事業名	外国語指導助手招致事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 小中学校での外国語教育及び国際理解教育の促進 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全小中学校で英語指導助手による活動を実施

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 自治体国際化協会のJETプログラムによるあっせんを受け、6人の英語指導助手を招致・採用し、市内6つの拠点中学校へ配置。小中学校の児童生徒への英語教育を行った。特に平成21年度から小学校において新学習指導要領による英語活動が実施されたため、小学校での取り組みが増えた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内全小中学校で英語指導助手による活動を実施

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	22,071	国庫支出金		
	4	2,955	府支出金		
	7	238	起債		
	8	120	分担金・負担金		
	9	526	その他		
	11・12	41			
	14・18	36			
	19	748	一般財源		26,735
事業費合計		26,735	合計		26,735

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">6人の英語指導助手が旧町域ごとの小中学校で活動していたが、平成21年度からは学校数などをふまえて町域を超えて有効に活動できた。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	6人の英語指導助手が旧町域ごとの小中学校で活動していたが、平成21年度からは学校数などをふまえて町域を超えて有効に活動できた。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	6人の英語指導助手が旧町域ごとの小中学校で活動していたが、平成21年度からは学校数などをふまえて町域を超えて有効に活動できた。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
○ × 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の経費で行っている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の経費で行っている。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の経費で行っている。			
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">引続き英語指導助手を招致・採用し、小中学校での英語教育を推進していく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	引続き英語指導助手を招致・採用し、小中学校での英語教育を推進していく。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	引続き英語指導助手を招致・採用し、小中学校での英語教育を推進していく。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">児童生徒への英語教育を継続して行っていく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	児童生徒への英語教育を継続して行っていく。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	児童生徒への英語教育を継続して行っていく。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 1

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	03	01
	細事業名	指導主事設置事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 5 学校、地域の安全確保 6 地域に開かれた学校づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校教育の充実・振興を図るため、指導主事を配置し、学校教育全般にわたり専門的事項に関する指示と指導を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 指導主事12人(本庁に6人、地域公民館に6人)を配置し、市内の各幼稚園及び小中学校に対し、学校教育全般にわたる専門的事項について、その識見と経験を生かした指示及び指導ができた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な数値指標の設定は困難であるが、教育指導者としての豊富な経験を生かした適切な指導・助言により、学校・学級経営、授業改善、児童生徒指導、保護者対応など学校運営の円滑な推進に寄与している。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	23,976	国庫支出金		
	4	3,293	府支出金		
	9	1,326	起債		
	11	10	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		28,605
事業費合計		28,605	合計		28,605

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	指導主事の教育指導者としての経験や専門的知識が、指示や指導を通じて教育現場や教師に浸透しつつある。
	○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	条例等に基づく指導主事報酬や費用弁償、社会保険料等が経費の大部分であり、コスト削減の余地は無い。
	○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	複雑多様化しつつある教育現場への指示及び指導は、今後とも必要不可欠であり、現状の取り組みを継続する。
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	学校再配置計画と学校教育改革構想を推進するため、指導主事の増員が必要となっている。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 2

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	04	01
細事業名	学校保健事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校保健安全法に基づき、幼児児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。また、幼稚園、小中学校の幼児児童生徒の事故災害について災害給付を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 就学前幼児を対象に就学時健康診断を実施するとともに、幼稚園及び学校管理下における事故災害に対する災害給付を行った。また、学校保健安全法に基づき児童生徒結核対策委員会、教職員結核審査会を開催した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	1,023	国庫支出金		
	8	105	府支出金		
	9	4	起債		
	11	144	分担金・負担金		
	13	140	その他		
	14	1			
	19	5,410			
			一般財源		6,827
事業費合計		6,827	合計		6,827

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	理由	就学時健康診断の実施により小学校入学予定者の健康状態を把握し、心身ともに最良の状態で就学させることができた。また、学校保健安全法に基づき児童生徒結核対策委員会、教職員結核審査会を開催した。
	○ 進捗している(できている)	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
	理由	日本スポーツ振興センターの災害給付掛金が主である。医師報酬は条例に基づくものであり、その他経費も必要最小限でありコスト削減の余地は無い。
	○ 削減の余地がなかった	
	▲ 少し削減の余地があった	
	× 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 幼児児童生徒及び教職員の健康の保持増進は、学校教育の充実を図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 今後、事業対象となる幼児児童生徒教職員数の減少が見込まれるが、同様の事業内容での継続が必要である。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 3

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	05	01
	細事業名	学校医委嘱事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校保健安全法に基づき、幼稚園及び小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 幼稚園及び小中学校に学校医17人、学校歯科医17人、学校薬剤師14人を委嘱し、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。また、新型インフルエンザ流行時には、拡大防止に向け学校・学級閉鎖の時期等、適切な助言を受けることができた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	34,561	国庫支出金		
	9	40	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		34,601
事業費合計		34,601	合計		34,601

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">条例等に基づく医師報酬や費用弁償であり、コスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	条例等に基づく医師報酬や費用弁償であり、コスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	条例等に基づく医師報酬や費用弁償であり、コスト削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">幼児児童生徒の健康管理、教育現場の衛生管理は、学校教育の充実を図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	幼児児童生徒の健康管理、教育現場の衛生管理は、学校教育の充実を図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	幼児児童生徒の健康管理、教育現場の衛生管理は、学校教育の充実を図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">今後、事業対象となる幼児児童生徒数の減少が見込まれるが、同様の事業内容での継続が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	今後、事業対象となる幼児児童生徒数の減少が見込まれるが、同様の事業内容での継続が必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	今後、事業対象となる幼児児童生徒数の減少が見込まれるが、同様の事業内容での継続が必要である。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 4

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	06	01
	細事業名	学務経費				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 教員の指導力の向上を図り、児童生徒の学力向上と問題行動・不登校対策等を促進するため、教員研修や教育相談を実施するとともに、児童生徒が心にゆとりを持ちながら学校生活を送るための環境づくりや就学指導を進める。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 若手教員を対象に教育大学教授による授業実践力開発講座を開催し、問題行動や不登校(傾向含む)の児童生徒の担任・保護者を対象に専門家による教育相談を実施した。また、心にゆとりを持つ環境づくりとして、小中学校音楽フェスティバルや特別支援学級ふれあい交流会を開催した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 音楽フェスティバルには、各校が数年おきに参加することとなり、小学校5校、中学校1校、プラスバンド6校が参加した。また、ふれあい交流会へは市内の特別支援学級在籍の児童生徒が参加した。通常授業以外での学習の場が設定できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	180	国庫支出金		
	11	320	府支出金		
	12	61	起債		
	13	2,172	分担金・負担金		
	14	134	その他		
	19	220			
			一般財源		3,087
事業費合計		3,087	合計		3,087

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 教員の指導力向上のためには、専門家による教員研修や教育相談は極めて有効な取り組みであり、各種行事の実施は児童生徒の学校生活の充実にも寄与している。事業効果の早期具現化は困難だが、今後の一定効果の積み重ねに期待したい。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 講師謝礼や教育相談委託料が中心であり、必要最小限の経費で実施しているため、削減の余地は無い。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 教員の指導力向上は普遍的かつ継続的な課題であり、今後とも継続した取り組みが必要である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
事業規模の方向性		
A 事業拡大	理由 不登校の児童生徒が増加傾向にあるため、新たに不登校対策支援員を配置し、学校と家庭との連携強化を図りながら問題解消に取り組みたい。また、障害のある幼児児童生徒の現状を的確に把握しながら就学指導の充実も検討したい。	
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 7

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	12	01
細事業名	教科用図書採択事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 小中学校において使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を図るため、学校教科用図書選定委員会を設置し、調査・研究を行う。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 中学校で使用する歴史教科書の新刊があったため、選定委員会を設置して調査・研究を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 選定委員会の答申を受けて、市教育委員会としての教科書採択を行った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	16	国庫支出金		
	9	8	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		24
事業費合計		24	合計		24

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 国の関係法令に基づき、設置が義務付けられているものである。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○ 削減の余地がなかった	理由 委員謝金は市の非常勤特別職に準じており、また、旅費は費用弁償であるためコスト削減の余地は無い。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 国の関係法令に基づき、設置が義務付けられているものであり、改善の余地は無い。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 同上
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 9

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	04	01
細事業名	児童教職員健康管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 児童、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。もって、学校教育の円滑な実施とその成果を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校保健安全法等関係法令に基づき、市内小学校31校の児童、教職員を対象に、健康診断、保健衛生管理、その他保健指導・安全対策を行った。 なお、新型インフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じた。 また、保健室等に常時必要な衛生消耗品等を購入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	72	国庫支出金		
	11	2,048	府支出金		
	13	8,017	起債		
	14	682	分担金・負担金		
	18	204	その他		
			一般財源		11,023
事業費合計		11,023	合計		11,023

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○ 削減の余地がなかった	理由 学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 学校設置者として児童、教職員の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 児童、教職員検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 10

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	01	01
	細事業名	小学校教育振興事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校、家庭、地域との連携を深めながら、学習活動はもちろん、社会奉仕活動、自然体験活動を通して豊かな人間性の育成に努める。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学習活動に要する消耗品費等のほか、校外での社会見学や体験活動等に要するバス利用の支援、また、遠距離通学児童44人に対しバス通学費等への補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な指標設定は困難であるが、校外での社会見学や体験活動を行うことが、児童の心身の育成を図る有効な手段となっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	1,520	国庫支出金		
	11	13,765	府支出金		
	13	2,540	起債		
	14	1,720	分担金・負担金		
	19	686	その他		
			一般財源		20,231
事業費合計		20,231	合計		20,231

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	学校外での様々な学習活動が可能となり、また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動を展開しており、コスト削減の余地は無い。	
○ 削減の余地がなかった			
▲ 少し削減の余地があった			
× 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	当面は現状の支援内容を継続するが、校外学習での一定の保護者負担もあることから、一層の充実を検討することが必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	同上
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 11

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	02	01
細事業名	小学校教育振興備品整備事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 授業に必要な教材備品を整備し学習活動の支援を行う。また、学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内31小学校に教材備品や学校図書を整備した。図書購入は、全校で5,737冊である。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 国の基準に沿って不足している教材備品や学校図書の整備を進めているもの。教材備品や図書の購入が、児童の活動への意欲や読書活動の充実に関係している。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	383	国庫支出金	理科教育設備整備費等補助金	4,939
	13	89	府支出金		
	18	30,260	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		25,793
事業費合計		30,732	合計		30,732

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか
	理由 ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない) 理由 理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるのは困難。
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか
	理由 ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった 理由 限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION	
改善	事業内容の方向性
	理由 A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。
改善	事業規模の方向性
	理由 A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 同上

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 12

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	03	01
細事業名	小学校就学援助事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 義務教育の機会均等に資するため、経済的理由又は心身障害によって就学困難な児童の保護者に対して学用品費等を補助することにより就学の負担を軽減し、小学校での円滑な教育が実施されることを目的とする。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 経済的理由又は心身障害によって就学困難な児童の保護者に対して学用品費、給食費等を補助した。要保護認定者18人、準要保護認定者283人、特別支援教育就学奨励費支給51人。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 認定者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	20	18,234	国庫支出金	就学援助費補助金等	580
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		17,654
事業費合計		18,234	合計		18,234

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	対象となる児童の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。	
○ 削減の余地がなかった			
▲ 少し削減の余地があった			
× 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	
	B 内容の見直し	理由 申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 13

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	04	01
細事業名	小学校教育推進事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校教育の充実及び児童の基礎学力の向上 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 授業を円滑に実施し、きめ細かく行き届いた指導を行うために、複式学級のある学校に対し加配教員を配置し、発達障害児に介護職員を配置した。(スクールサポーターの配置) また、学校の教育力を高め、効果を各校に波及させるために、各種指定事業に対して補助を行った。介護職員10校に12人、心の教室相談員1校に1人、困難校加配3校に3人配置。教育実践研究指定：文部科学省1校、京都府教委3校、市教委6校。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

歳出		歳入		
節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
4	3,404	国庫支出金		
7	22,556	府支出金		1,338
8	31	起債		
9	107	分担金・負担金		
11	726	その他		
19	3,727			
		一般財源		29,213
事業費合計	30,551	合計		30,551

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針				
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)			
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)			
歳出		歳入		
節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
		国庫支出金		
		府支出金		
		起債		
		分担金・負担金		
		その他		
		一般財源		
事業費合計		合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。
改善	事業規模の方向性		
	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 15

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	04	01
細事業名	生徒教職員健康管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生徒、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。もって、学校教育の円滑な実施とその成果を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校保健安全法等関係法令に基づき、市内中学校9校の児童、教職員を対象に、健康診断、保健衛生管理、その他保健指導・安全対策を行った。なお、新型インフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じた。また、保健室等に常時必要な衛生消耗品等を購入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	1,119	国庫支出金		
	13	4,592	府支出金		
	14	267	起債		
	18	312	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		6,290
事業費合計		6,290	合計		6,290

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。
	○ 削減の余地がなかった		
	○ ▲ 少し削減の余地があった		
	○ × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 学校設置者として生徒、教職員の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 生徒、教職員検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引き続き疾病の早期発見と予防に努める。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 16

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	01	01
	細事業名	中学校教育振興事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校、家庭、地域との連携を深めながら、学習活動はもちろん、社会奉仕活動、自然体験活動を通して豊かな人間性を育成に努める。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学習活動に要する消耗品費等のほか、校外での社会見学や体験活動、クラブ活動等に要するバス利用や選手派遣費用の支援、また、遠距離通学生徒35人に対しバス通学費等への補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な指標設定は困難であるが、校外での社会見学や体験活動を行うことが、児童の心身の育成を図る有効な手段となっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	1,745	国庫支出金		
	11	10,942	府支出金		
	13	7,766	起債		
	14	6,360	分担金・負担金		
	19	3,833	その他		
			一般財源		30,646
事業費合計		30,646	合計		30,646

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 学校外での様々な学習活動が可能となり、クラブ活動も活発に取り組まれている。また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動・クラブ活動を展開しており、コスト削減の余地は無い。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 当面は現状の支援内容を継続するが、校外学習や体育大会等への選手派遣での一定の保護者負担もあることから、一層の充実を検討することが必要である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 同上
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 17

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	02	01
細事業名	中学校教育振興備品整備事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 授業に必要な教材備品を整備し学習活動の支援を行う。また、学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内9中学校に教材備品や学校図書、クラブ活動に必要な楽器、器具類を整備した。図書購入は、全校で2,262冊である。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 国の基準に沿って不足している教材備品や学校図書の整備を進めているもの。教材備品や図書の購入が、児童の活動への意欲や読書活動の充実につながっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	601	国庫支出金	理科教育設備整備費等補助金	3,416
	12	225	府支出金		
	13	31	起債		
	18	19,215	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		16,656
事業費合計		20,072	合計		20,072

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるのは困難。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるのは困難。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。教材備品や学校図書の整備を、即学力向上の評価につなげるのは困難。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のペースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">同上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	同上		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	同上					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 18

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	03	01
細事業名	中学校就学援助事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 義務教育の機会均等に資するため、経済的理由又は心身障害によって就学困難な生徒の保護者に対して学用品費等を補助することにより就学の負担を軽減し、中学校での円滑な教育が実施されることを目的とする。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 経済的理由又は心身障害によって就学困難な生徒の保護者に対して学用品費、給食費等を補助した。要保護認定者18人、準要保護認定者225人、特別支援教育就学奨励費支給17人。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 認定者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	20	22,448	国庫支出金	就学援助費補助金等	445
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		22,003
事業費合計		22,448	合計		22,448

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">対象となる生徒の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	対象となる生徒の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	対象となる生徒の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)	B 現状維持
A 事業拡大	理由	補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 19

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	04	01
	細事業名	中学校教育推進事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校教育の充実、生徒の基礎学力の向上及び不登校の未然防止や保健室登校生徒の支援 学校教育的な効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 授業を円滑に実施し、きめ細かく行き届いた指導を行うために、発達障害児に介護職員を配置し、不登校の未然防止や、保健室登校の生徒の支援のために、心の教室相談員を配置した。(スクールサポーターの配置) また、学校の教育力を高め、効果を各校に波及させるために、各種指定事業に対して補助を行った。介護職員2校に2人、心の教室相談員9校に9人配置。 教育実践研究指定：文部科学省1校、京都府教委1校、市教委1校。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	2,053	国庫支出金		
	7	11,744	府支出金	京の子ども・夢未来体験活動補助金	504
	11	110	起債		
	19	2,173	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		15,576
事業費合計		16,080	合計		16,080

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 20

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	02	01
	細事業名	幼稚園管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内の3幼稚園を管理運営し、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して教育を行うことを基本とし、遊びや体験的な活動を通じた総合的な指導により、人格形成の基礎を培う教育環境を整える。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の3幼稚園に講師2人(臨時職員)やスクールサポーター3人(介護職員)等を配置するとともに、管理運営に要する経常経費の支出を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	1,044	国庫支出金	幼稚園就園奨励費補助金	32
	7	8,317	府支出金		
	9	323	起債		
	11	3,185	分担金・負担金		
	12	260	その他	幼稚園保育料	2,144
	13	943			
	18	370			
	その他	285	一般財源		12,551
事業費合計		14,727	合計		14,727

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 幼稚園における円滑な教育実践と運営管理がほぼできている。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
改善	○ 削減の余地がなかった	理由 教材や老朽化した備品の更新等も抑制する中で、これ以上のコスト削減の余地は無い。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 21

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	04	01
細事業名	園児等健康管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 園児の健康の保持増進を図り、就学前教育を円滑にする。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。もって、幼稚園教育の円滑な実施とその成果を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校保健安全法等関係法令に基づき、市内幼稚園3園の園児を対象に、健康診断、保健衛生管理、その他保健指導・安全対策を行った。なお、新型インフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じた。また、必要な衛生消耗品等を購入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	77	国庫支出金		
	13	103	府支出金		
	18	82	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		262
事業費合計		262	合計		262

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了</td> <td>理由</td> <td>学校設置者として幼稚園園児の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。</td> </tr> </table>	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由
A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	学校設置者として幼稚園園児の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。	
改善	事業規模の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小</td> <td>理由</td> <td>検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由
B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。	

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 22

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	02	01
細事業名	網野給食センター管理運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、園児児童生徒の心身の健全な発達に資する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 給食センターを管理運営し、網野町域の1幼稚園、6小学校、2中学校を対象に、1日約1,600食の給食を調理・配送した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	9	10	国庫支出金		
	11	12,830	府支出金		
	12	1,521	起債		
	13	19,116	分担金・負担金		
	14	67	その他		
	18	1,087			
	27	110			
事業費合計		34,741	一般財源		34,741
			合計		34,741

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 センター運営に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 センター運営に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 センター運営に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
事業費合計			一般財源		
			合計		

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、今後は臨時雇用に移行する必要がある。また、施設や大型調理機器の老朽化が著しく、計画的な施設改修や機器更新が必要となっている。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、今後は臨時雇用に移行する必要がある。また、施設や大型調理機器の老朽化が著しく、計画的な施設改修や機器更新が必要となっている。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、今後は臨時雇用に移行する必要がある。また、施設や大型調理機器の老朽化が著しく、計画的な施設改修や機器更新が必要となっている。					
B	B 内容の見直し						
C	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 今後も網野町域の1幼稚園、6小学校、2中学校を対象に給食の調理・配送を継続する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 今後も網野町域の1幼稚園、6小学校、2中学校を対象に給食の調理・配送を継続する。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 今後も網野町域の1幼稚園、6小学校、2中学校を対象に給食の調理・配送を継続する。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 23

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	04	01
細事業名	小学校給食管理運営事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、児童の心身の健全な発達に資する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野地域を除く市内小学校25校の児童に対し、安心安全な学校給食を提供した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	1,846	国庫支出金		
	7	13,222	府支出金		
	11	18,341	起債		
	12	31	分担金・負担金		
	13	61,217	その他		
	14	53			
	18	804			
	19	49	一般財源		95,563
事業費合計		95,563	合計		95,563

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 アウトソーシングによるコスト削減の観点から、学校給食の業務委託を進める必要がある。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 24

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	05	01
細事業名	中学校給食管理運営事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、生徒の心身の健全な発達に資する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野地域を除く市内中学校7校の生徒に対し、安心安全な学校給食を提供した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	247	国庫支出金		
	7	1,872	府支出金		
	11	8,032	起債		
	12	14	分担金・負担金		
	13	32,279	その他		
	14	17			
	18	1,506			
	19	38	一般財源		44,005
事業費合計		44,005	合計		44,005

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	
○ 削減の余地がなかった			
▲ 少し削減の余地があった			
× 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。
	A 現状維持		
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性	理由	アウトソーシングによるコスト削減の観点から、学校給食の業務委託を進める必要がある。
	A 事業拡大		
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 25

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	06	01
細事業名	幼稚園給食管理運営事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、園児の心身の健全な発達に資する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 峰山幼稚園児に対し、安心安全な学校給食を提供した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	249	国庫支出金		
	7	1,952	府支出金		
	11	430	起債		
	12	1	分担金・負担金		
	13	1,033	その他		
	14				
	18				
	19		一般財源		3,665
事業費合計		3,665	合計		3,665

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 アウトソーシングによるコスト削減の観点から、給食の業務委託を進める必要がある。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 26

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	07	01
細事業名	地元農産物給食利用促進支援事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校給食での地元農産物の利用拡大を図るとともに、農産物や農業・農村への関心や理解を高める。 学校給食における地元産物の利用拡大を図るとともに、農産物や農業・農村への関心や理解を高める。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校給食における地元産物の使用に対して補助を行った。(ブレンド米と丹後産コシヒカリの単価差の一部補助) 網野給食センター及び自校給食を実施している全校に補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) おいしい丹後産コシヒカリを給食に提供できた。 農家所得の向上は、本事業の目的になじまない。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	950	国庫支出金		
			府支出金	農山漁村活性化総合推進事業補助金	950
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		950	合計		950

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 日本型食生活の形成と定着、また、地元産物の利用促進への理解が得られつつある。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
改善	○ 削減の余地がなかった	理由 京都府の100%補助事業である。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	
	○	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 27

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	08	01
細事業名	学校給食地場農畜産物利用拡大事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校給食での地場農畜産物の利用拡大を図るとともに、農産物や農業・農村への関心や理解を高める。(事業実施期間H21～22) 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) H22で事業終了

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野給食センターにおいて、地場農畜産物の利用拡大献立の導入・実証を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) おいしい地元産の農畜産物を給食に提供できた。 農家所得の向上は、本事業の目的になじまない。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	820	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他	学校給食地場農畜産物利用拡大事業助成金	820
			一般財源		0
事業費合計		820	合計		820

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	2ヶ年の事業計画のとおり進捗している。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	(財)京都市府学校給食会の定額補助事業である。
	○ 削減の余地がなかった		
	○ ▲ 少し削減の余地があった		
	○ × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
歳出		歳入			
予算科目	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持		
	C B 内容の見直し	理由	2ヶ年事業につきH22で終了
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大		
C B 現状維持	理由	2ヶ年事業につきH22で終了	
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 8

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	05	01
細事業名	小学校スクールバス運行管理事業					

担当部局	教育委員会
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の学校への安全な送迎を確保する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 運転・維持管理業務の業者委託 学校再配置により増加が見込まれる バス通学児童数 学校再配置により増加が見込まれる

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童を対象に、学校への安全な送迎を確保した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 運転・維持管理業務の業者委託 網野北・橋小学校 2校 バス通学児童数 99人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	1,304	国庫支出金		
	12	400	府支出金		
	13	15,471	起債		
	14	8	分担金・負担金		
	27	145	その他	久美浜路線市営バス運	40
				久美浜バス回数券販	10
				久美浜バス沿線地域	5
			一般財源		17,273
事業費合計		17,328	合計		17,328

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 小学校に通学する遠距離及び特に必要と認めた児童の学校への安全な送迎を確保することができた。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 遠距離及び特に必要と認めた児童のスクールバスの運行は必要不可欠であり、児童の通学の安全確保の観点から妥当な経費であると考え	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 児童の安全、安心を守るため、網野北、橋小学校スクールバス運行及び車両維持管理を委託し、今後は事務量及び経費削減するため、全車両を運転と維持管理を含めて委託する方向とする。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
事業規模の方向性		
A 事業拡大	理由 学校再配置計画の実施により、スクールバス運行の路線拡充が必要となる。	
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 9

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	05	02
細事業名	小学校スクールバス購入事業(平成21年度については土木費にて購入)					

担当部局	教育委員会
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) スクールバス更新計画に基づいて、購入後14年を目的に老朽化した車両の更新を計画的に行う。学校再配置計画に基づいて、新規路線運行に伴う車両を購入し、児童の通学の安全を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 車両更新台数 1台 新規購入車両台数 11台

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 老朽化しているスクールバスの車両更新と学校再配置による新規路線運行に伴う車両を購入し、児童の通学の安全を確保する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 新規車両購入 間人小学校 2台

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	12	150	国庫支出金		
	18	10,045	府支出金		
	27	76	起債	スクールバス整備事業際	3,700
			分担金・負担金		
			その他	地域活力基盤創造交	5,524
			一般財源		1,047
事業費合計		10,271	合計		10,271

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 学校再配置に伴い竹野小学校区から、間人小学校への新規車両購入を行い、児童の安全な交通手段を確保することができた。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 学校再配置に伴う新規車両購入は、遠距離通学の児童の安心、安全を確保するために必要不可欠な事業であり、削減の余地はなかった。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 スクールバス更新計画に従って、遠距離通学の児童の安全を確保するためスクールバスの計画的な車両更新を行う。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
事業規模の方向性		
A 事業拡大	理由 学校再配置計画の実施により、スクールバス運行路線の拡充に伴い車新規車両購入が必要となる。	
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 10

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	05	01
細事業名	中学校スクールバス運行管理事業					

担当部局	教育委員会
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の学校への安全な送迎を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 運転・維持管理業務の業者委託 学校再配置の進行状況により増加が見込まれるバス通学生徒数 学校再配置の進行状況により増加が見込まれる

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒を対象に、学校への安全な送迎を確保した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 運転・維持管理業務の業者委託 峰山・弥栄中学校 2校 バス通学生徒数 137人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	6,271	国庫支出金		
	12	682	府支出金		
	13	23,406	起債		
	27	240	分担金・負担金		
			その他	久美浜路線市営バス運	1,427
				久美浜バス回数券販	410
				久美浜バス沿線地域	233
			一般財源		28,529
事業費合計		30,599	合計		30,599

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 中学校に通学する遠距離及び特に必要と認められた生徒の学校への安全な送迎を確保することができた。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○ 削減の余地がなかった	理由 遠距離及び特に必要と認められた生徒のスクールバスの運行は必要不可欠であり、生徒の通学の安全確保の観点から妥当な経費であると考え
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 生徒の安全、安心を守るため、峰山・弥栄中学校スクールバス運行及び車両維持管理を委託し、今後は事務量及び経費削減するため、全車両を運転と維持管理を含めて委託する方向とする。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由 学校再配置計画の実施により、スクールバス運行の路線拡充が必要となる。
	B 現状維持	
	C 事業縮小	

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 11

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	05	02
細事業名	中学校スクールバス購入事業					

担当部局	教育委員会
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 2 学校教育施設の整備・充実
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) スクールバス更新計画に基づいて、購入後14年を目的に老朽化した車両の更新を計画的に行う。学校再配置計画に基づいて、新規路線運行に伴う車両を購入し、生徒の通学の安全を確保する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 車両更新台数 4台 新規購入車両台数 3台

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 老朽化しているスクールバスの車両更新と学校再配置による新規路線運行に伴う車両を購入し、生徒の通学の安全を確保する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 車両更新 峰山中学校 1台

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	12	75	国庫支出金		
	18	12,953	府支出金		
	27	69	起債	スクールバス整備事業際	9,400
			分担金・負担金		
			その他	へき地生徒援助費等	2,500
			一般財源		1,197
事業費合計		13,097	合計		13,097

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	峰山中学校スクールバスの車両更新を行い、児童の安全な交通手段を確保することができた。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	学校再配置に伴う新規車両購入は、遠距離通学の生徒の安心、安全を確保するために必要不可欠な事業であり、削減の余地はなかった。
	○ 削減の余地がなかった		
	○ ▲ 少し削減の余地があった		
	○ × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	スクールバス更新計画に従って、遠距離通学の生徒の安全を確保するためスクールバスの計画的な車両更新を行う。
	A 現状維持		
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性	理由	学校再配置計画の実施により、スクールバス運行路線の拡充に伴い車新規車両購入が必要となる。
	A 事業拡大		
	B 現状維持		
	C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

学教 5

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	07	01
細事業名	学校安全対策事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 5 学校、地域の安全確保
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 登下校時の児童生徒を犯罪や事故から守り、地域ぐるみで子どもの安全確保と被害防止を図る。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 子ども安全パトロール車「にこにこカー」21台を小中学校等に配置し、登下校時のPTA等による見守り活動を支援した。「にこにこカー」は2~3校に1台ローテーションで配置されており、登下校時には毎日運行されている。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な指標設定は困難であるが、パトロール車として運行していることで、児童・生徒保護者、教職員に安心感を持たせることができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	1,853	国庫支出金		
	12	562	府支出金		
	27	52	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,467
事業費合計		2,467	合計		2,467

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 子ども安全パトロール車「にこにこカー」は、児童生徒の登下校時のパトロールに有効利用されている。また、各学校においても、PTAや地域ボランティア等による見守り活動が活発に展開されている。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○ 削減の余地がなかった	理由 「にこにこカー」の運行に必要な燃料費、車検費用、損害保険料など必要最小限の維持管理経費であり、削減の余地は無い。
	▲ 少し削減の余地があった	
	× 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 引き続き「にこにこカー」の運行を継続し、PTAや地域ボランティア等による見守り活動の支援、助長が必要である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 平成21年度まで京都府が実施していた、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」を引き継ぎ、スクールガードリーダーを配置して、現状の見守り活動の強化と促進を図ることとする。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 12

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	18	01
細事業名	学校支援地域本部事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 6 地域に開かれた学校づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域全体で学校教育を支援する連携体制を構築する。また、地域住民の経験や特技を活かす場として地域と学校を結びつけることにより、地域の教育力の活性化と住民の意欲・能力活用し、地域の活性化と学校を核とした地域づくりを推進する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 地域住民が学校支援ボランティアとして学校支援活動に参加ボランティア登録者数 300名

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校支援ボランティアが学校の求めに応じて子どもたちの安全確保や学習支援活動、部活動支援、学校の環境整備などさまざまな学校支援活動を峰山中学校区、大宮中学校区、網野中学校区で実施した。 ○ボランティア登録者数 170名 ○ボランティア活動 1,315件;延べ12,923名
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校の学習環境の充実 地域人材の活用及び生きがいがづくり

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	3,011	国庫支出金		
	9	44	府支出金	地域で支える学校教育推進事業	3,702
	11	771	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		124
事業費合計		3,826	合計		3,826

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 平成20年度より段階的に事業エリアを拡充し、平成22年度から全市域で事業を実施する。ボランティア登録者も随時、増えており学校での活動内容も多様化している。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○ 削減の余地がなかった	理由 国の定める委託期間(4月1日～3月15日)で事業を実施すれば単費の持ち出しは不要となる。
	▲ 少し削減の余地があった	
	× 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 学校、ボランティア双方ともに事業の成果が現れている。地域と学校とを結ぶコーディネーターが重要な役割を担っている。今後もボランティア人材の確保と学校支援活動の拡充を図る。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由 国の委託制度が平成22年度で終了する。国の動向に注視しつつ、今後の事業の方向性を検討する必要がある。
	B 現状維持	
	C 事業縮小	

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 4

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	05	01
	細事業名	青少年教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ③ 若者の育成 施策方針 1 青少年の健全育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 体験活動の実施や関係団体への支援を通して、京丹後市の将来を担う青少年の心豊かな人間形成の基礎づくりを目的とする。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 様々な体験活動の実施と放課後や休日における子どもの居場所づくり

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 青少年を対象とした体験活動(キャンプ、自然観察、陶芸、木工)や映画会、京都工芸繊維大学との連携による理科わくわく体験教室の実施した。21事業(51回);延べ2,089名が参加。また、青少年健全育成会(6団体:640千円)、児童合唱団(4団体:852千円)、地域子ども教室(9教室:1,500千円)などへ活動支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 様々な体験活動や地域住民との交流による青少年の健全育成 青少年の各種育成団体への支援による組織の活性化

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	172	国庫支出金		
	9	94	府支出金		
	11	176	起債		
	13	17	分担金・負担金		
	14	179	その他		
	19	3,149			
			一般財源		3,787
事業費合計		3,787	合計		3,787

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	<input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) <input type="radio"/> 遅れている(できていない)	理由 各種青少年団体の育成や組織体制の再編など停滞している。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	
	<input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった <input type="radio"/> 削減の余地があった	理由 青少年の指導にあたる講師や安全管理員をボランティアでお世話になるなど必要最小限の予算で対応している。

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針		1 青少年の健全育成			
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	<input type="radio"/> A 現状維持 <input type="radio"/> B 内容の見直し <input type="radio"/> C 統廃合・休止・終了	理由 継続的に体験活動事業を実施するとともに団体への支援が必要である。
	事業規模の方向性	
	<input type="radio"/> A 事業拡大 <input type="radio"/> B 現状維持 <input type="radio"/> C 事業縮小	理由 青少年を取り巻く環境を考えると地域、家庭、学校との連携による青少年の育成と子どもの居場所づくりの充実が必要である。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 9

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	10	01
細事業名	家庭教育事業					

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市				
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実				
	施策方針	3 生涯学習推進体制の整備				
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	時代を担う子どもたちの健やかな成長を支援するため、家庭、学校、地域が連携した学習機会を提供するとともに、親子の交流機会を提供し地域の教育力の向上を図る。	平成26年度 事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)			
			子育て学習会・各種事業への参加			

平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	乳幼児、就学前、就学時、思春期など、子どもの発達段階に応じた親を対象にした子育て学習会や親子ふれあい事業を関係機関と連携し実施した。子育て学習会 33回;延べ1,976名の参加 親子ふれあい事業 7回;延べ152名参加 また、大宮・網野地域では、家庭教育支援チームを組織し、子どもの心理状況を把握する「手紙で結ぶ家族の絆事業」や地域課題を把握するためのアンケートの実施、親同士の情報交換を通して、相談できる人間関係を築くことを目的とした参加型の学習会の開催や相談対応などに取り組んだ。学習会 20回;延べ2
平成21年度 事業の効果		家庭・地域の教育力の向上 家庭教育支援チームを核としたきめ細かな家庭教育支援体制の整備

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	526	国庫支出金		
	9	23	府支出金	家庭教育支援基盤形成事業補助金	404
	11	307	起債		
	12	5	分担金・負担金		
	19	707	その他		
			一般財源		1,164
事業費合計		1,568	合計		1,568

CHECK 評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか		
	○ 進捗している(できている)	理由	家庭教育支援チームの拡充を図り地域に密着したきめ細かな家庭教育支援体制の定着を図る。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○ 削減の余地がなかった	理由	研修会へ参加しやすい各小学校区及び町域を単位とした学習機会の提供が効果的である。京都府の家庭教育基盤形成事業の補助事業を活用する。	
○ ▲ 少し削減の余地があった			
○ × 削減の余地があった			

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度 事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度 事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION 改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 家庭環境の多様化、地域のつながりが希薄化する中で、家庭教育の果たす役割はますます重要となる。地域課題に即した学習会を継続して実施する必要がある。
	事業規模の方向性		
	A	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 家庭教育の重要性が高まる中で、多様な子育て支援体制を構築する必要がある。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調書

整理番号  
社会 37

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	04	01
細事業名		青少年スポーツ教室事業				

担当部局
教育委員会事務局
担当課等
社会教育課

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	青少年のスポーツ競技力・運動能力の向上を図るとともに、健全育成を目指す。
平成26年度 事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の継続と、教室数の拡大	

<b>DO</b>	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域に根ざした様々なスポーツ教室を実施した。その指導者へ謝金を支払った(月額4,500円)を支払った。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内で59のスポーツ教室を実施し、児童のスポーツ競技力、体力の向上及び健全育成与した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	3,155	国庫支出金		
	11	18	府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		3,173
事業費合計		3,173	合計		3,173

<b>CHECK</b>		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 小学生の段階からスポーツに親しむことで、スポーツ競技力、体力の向上、及び健全育成が図られる。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 月額4,500円の指導謝礼、年1回の広報チラシ紙代であり、謝金支払額は、教室数の増減によるが、この要素以外に削減の余地はない。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度 事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度 事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

<b>ACTION</b>		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 次代を担う青少年が、スポーツに親しむ機会として貴重である。競技力・運動能力の向上だけでなく、健全育成にも寄与する。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 少子化などにより、若干の教室数の増減はあるものの、概ね現状のままと考えられる。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

社会 3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	04	01
	細事業名	成人式開催事業				

担当部署	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課

■ 事務事業評価

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ③ 若者の育成 施策方針 2 まちづくりへの若者の参加促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市の新成人を一堂に集め、成人としての門出を祝う場として式典を開催する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 成人式の出席率 80%以上

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 新成人の門出を祝うために、市内新成人が京都府丹後文化会館に一同に会して式典を開催した。積雪の少ない3月に式典を開催するなど、参加される方に配慮している。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 成人式出席者 622人(出席率83%)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	1,243	国庫支出金		
	11	41	府支出金		
	12	163	起債		
	13	15	分担金・負担金		
	14	220	その他		
			一般財源		1,682
事業費合計		1,682	合計		1,682

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	出席率は、年によって若干の変動はあるものの80%に達している。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	必要最低限の事業費で開催しているため、コスト削減は難しい。
	○ 削減の余地がなかった		
	○ ▲ 少し削減の余地があった		
	○ × 削減の余地があった		

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の効果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 少子化社会のなかで、次代を担う新成人への期待は大きく、市として社会人の一員となる若者の門出を祝うことは重要である。
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 新成人の門出を祝う伝統的な事業であり、今後も継続して実施する必要がある。

平成22年度 事務事業評価、総合計画・実施計画及び財政計画策定調査

整理番号

教総 3

■ 事務事業評価

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	03	01	01
	細事業名	奨学金給付等事業				

担当部局	教育委員会
担当課等	教育総務課

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ① 子育ての支援 施策方針 2 子どもの健やかな成長支援
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 経済的に困窮している家庭の高校生、大学生等を対象に奨学金を給付することにより、修学を奨励する。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 高校生 75人給付 大学生等 50人給付

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 経済的に困窮している家庭の高校生、大学生等を対象に、給付該当者を京丹後市奨学金選考・検討委員会において選考し、高校生月5,000円、大学生毎月10,000円を給付した。
平成21年度事業の效果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 高校生 47人給付 大学生等 54人給付

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	1	16	国庫支出金		
	9	2	府支出金		
	20	9,300	起債		
			分担金・負担金		
			その他	奨学金基金繰入金	9,300
			一般財源		18
事業費合計		9,318	合計		9,318

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 未来ある生徒及び学生の修学への支援ができ、設定した成果指標は概ね達成できたと考える。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
改善	○ 削減の余地がなかった	理由 厳しい経済状況の中で、勉強意欲と能力のある生徒及び学生の修学支援をするために重要な事業であるため削減の余地はなかった。
	○ ▲ 少し削減の余地があった	
	○ × 削減の余地があった	

●平成22年度予算

総合計画(後期基本計画)の施策方針					
平成22年度事業の概要	(何を対象に、何をするか)				
平成22年度事業の效果目標	(平成22年度に、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)				
予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		
事業費合計			合計		